

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	木質構造の振動障害に関する小委員会	主 査 名：中村 昇 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：五十田博
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>これまで「木質系住宅の振動障害に関する小委員会」では、木質系住宅の加速度レベルを低減できる設計指針の作成を目指して活動してきたが、問題点が多く、まとめきれていない。また、大スパン木質床の振動性状と人体知覚を包含した「大規模木質構造の振動障害に関する小委員会」として、「大規模木質構造における大スパン床振動を考慮した設計指針(案)」および「木質系住宅の加速度レベルを低減できる設計指針(案)」の作成を目指して活動してきた。既設の木造の学校や事務所の床振動に関する実験は行ってきたが、設計指針(案)の作成には至っていない。そこで、これまでの実験および既存のデータをもとに、指針(案)を作成し、講習会を開催して広く成果を発表することを目的とする。</p> <p>初年度：これまで行ってきた床振動に関する解析を行う。住宅展示場において、道路振動や段差走行を加振源とした三成分振動測定を行う。</p> <p>2 年度：初年度と同様に、床振動に関する解析、住宅展示場において、道路振動や段差走行を加振源とした三成分振動測定を行う。</p> <p>3 年度：初年度および 2 年度の結果をもとに、「大規模木質構造における大スパン床振動を考慮した設計指針(案)」の作成を目指す。また、同時に「木質系住宅の加速度レベルを低減できる設計指針(案)」を作成する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：中村 昇(秋田県立大学) 幹事：佐野泰之(名古屋工業大学)、藤野栄一(職業能力開発総合大学校) 委員：伊積康彦(鉄道総合技術研究所)、松本泰尚(埼玉大学)、新藤智(法政大学)、守屋嘉晃(建材試験センター)、権田将也(三井ホーム)、宇京斉一郎(森林総合研究所)、丸谷周平(山下設計)、伊奈潔(中央建鉄)、杉本健一(森林総合研究所)、横山裕(東京工業大学)、高橋武宏(一条工務店)、鎌田貴久(日本大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	木質構造の振動障害に関するデータ分析 WG：これまで行ってきた実験に関するデータの分析を行う	
2016 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の歩行を加振源とする大スパン木質床の設計に関しては、スパン、静的な剛性および固有振動数と人間の評価指標を基にした、設計クライテリア(案)をまとめた。 2. これまで、住宅展示場において、17 棟のモデル住宅に対し、道路振動や段差走行を加振源とした三成分振動測定を行い、データ解析を行っている。 3. 目的とする 2 つの指針(案)について、内容および目次を検討した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 特になし